

日本の食と農の現実は深刻。
これらの「いのちの問題」に向き合い、
みんなで農政の転換を実現しよう。
今が正念場だ。

令和の 百姓一揆



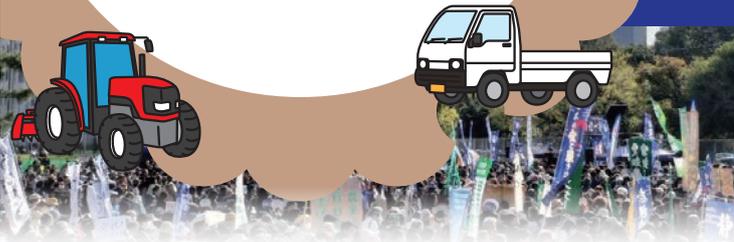
2026.3.29

14時30分
集会開始
～15時30分

場所：
京都タワー前



HYAKUSHO
IKKI
2026



日本の食を守るため、 再び立ち上がる時が来た

私たち令和の百姓一揆実行委員会は、安全でおいしい国産の農産物をつくるために日々土を耕し、家畜を養い、自然と向き合い、農業を営んできました。また、農業生産を通して地域の共同体を維持し農村の集落を守ってきました。環境を守り、生態系を維持することにも努めてきました。しかし残念ながらこのような農業を続けていくことが困難になってきました。持続的に安全な農産物をつくりたいと思いをよせる農業者（百姓）がなにか行動をおこせないかと立ち上がりました。

百姓一揆といっても、決して「打ちこわし」などを行うわけではありません。2025年3月30日の東京でのトラクター行進を皮切りに、全国の26都道府県で令和の百姓一揆実行委員会が結成されて、百姓の声を伝える取り組みが広がっています。

令和の百姓一揆実行委員会は農業、農村の衰退を止め、国産の食料を守ることを目的としています。気候変動による酷暑や台風、大雨などの災害、異常円安による肥料、燃料、飼料などの生産コスト増などによる経営赤字、高齢化などにより農家人口は年々減少してきました。

耕作放棄地は増え続け、今やひとつの県の面積をしのぐほどになってきました。米や野菜、畜産物、果樹などの国産食料の生産基盤が大きく損なわれようとしています。またそれ



に伴い、山林は放置され、熊などの獣が多く出没し始め、今や市街地にまで現れるほどとなり、農村の衰退も社会にとって深刻な問題です。一方でスーパーの棚から米が消える令和の米騒動が起こりました。需要の混乱が拍車をかけ、米価高騰は収まらず、「国産のお米が食べたいのに買えない」といった声が多く聞こえます。また、異常円安による物価高騰も厳しく、国民の生活はままなりません。

未来に生まれてくる子どもたちも国産の食料を食べ続けてもらえるように、「日本の食と農を守ろう」をスローガンに掲げ、すべての市民が安心して国産の食料を手にするためにすべての農民に所得補償を求めます。

よつ葉の学校基礎講座 2026年度

自給自足の園芸研究家、樹木医

丹波ハッピー農園

“はたさん × ほりさん”

兵庫県西宮市出身。大手住宅メーカーの研究所と本会社に23年間勤務後独立。阪神淡路大震災で命と命の糧(食べもの)の大切さに気づき、京都と奈良の県境で家族分のお米と野菜を作っている。3月に最終回となったNHK 総合テレビ「ぐるっと関西おひるまえ」に、15年間野菜作り講師として出演。

Instagram@akihiro.hata.14



京都府南丹市八木町で、地域の土と水、そして太陽の光という自然そのものの力を借りて、農業や化学肥料を使わない野菜や米の栽培に取り組んでいます。また、食べるものだけでなく倉庫や精米所の建築や修理など、自分でできることは何でもやる本物の「百姓」。家族である牛やヤギたちと一緒に里山の再生にチャレンジしながら、自然に寄り添った生活を続けています。



主食が手に入らない事態に社会が大きく揺れ動いた、今回の「米騒動」。米価格の高騰に慣れっこになったのか、話題に上ることが少なくなってきましたが、農業と農家を軽んじてきた政策そのものは何も解決していません。それどころか、このまま放置しておけば主食であるお米を始め国内で作られる様々な農産物水産物が、私たちの口に入らなくなる明日が待っています。

そうではない未来を開いていくには、近くの産地や心ある生産者つながり支え合う関係を広げていくこと。そして消費者である私たちが単にお金を出して買うだけでなく、少しずつでも「作る」ことに関わっていくこと。この2つが求められているのではないのでしょうか？

今回は、京都府南丹市で自然農に取り組み「農」の大切さを発信してきた丹波ハッピー農園の堀さんと、奈良在住の園芸研究家で「国の自給率を上げるのは大変だけど、自宅の自給率は結構簡単に上げられる!」をキャッチフレーズに、家庭菜園やプランターでの野菜作りをすすめるはたさんに対談形式でお米についてのお話をさせていただきます。

最後は堀さんが育てた自然栽培米の種籾を持って帰って、秋の収穫を目指しパケツ等でちょっとだけお米を作ってみませんか？ みなさんの参加を心よりお待ちしております。

開催日時 2026年4月11日(土) 14時~16時 (13時半開場)

開催場所 おにクル7F 第1会議室

大阪府茨木市駅前3丁目9番45号 ※JR茨木駅・阪急茨木市駅からいずれも徒歩約10分

参加費 無料 ※会場参加とオンライン参加どちらも無料です。

※会場参加とオンライン参加をご用意しています。Peatix でお申し込みください。

※会場参加の方には丹波ハッピー農園の種籾をお土産に持って帰っていただきます。

Peatix URL: <https://260411.peatix.com>

Peatix を利用されていない方は **072-630-5610** へお電話ください。

連絡先 関西「令和の百姓一揆」実行委員会 

最新情報はこちらのサイト https://note.com/kansai_reiwaikki で発信しています。

072-630-5610 (関西よつ葉連絡会事務局)

